

# 令和5年4月から、 「新たな教師の学びの姿」を実現するための「新たな研修制度」 が始まりました

## 新たな教師 の学びの姿

- 主体的な姿勢：変化を前向きに受け止め、探究心をもち自律的に学ぶ
- 継続的な学び：求められる知識技能が変わっていくことを意識して学ぶ
- 個別最適な学び：強みを伸ばすために、一人一人の個性に即して学ぶ
- 協働的な学び：他者との対話や振り返りの機会を通じて学ぶ

実現のため

## 新たな研修制度

### 〔概要〕

先生方一人一人に、ご自身の資質能力を主体的に高めていただくための学びの契機や機会がより確実に提供されるよう、「研修履歴の作成」と「研修履歴を活用した受講奨励」の仕組みを導入します。



制度の趣旨等

### 〔先生方に取り組んでいただきたいこと〕

#### 取組① 研修履歴の記録

- ・先生方が、資質能力を高めるために行った自己研鑽や校内研修の中から、学びの足跡として残しておきたいものを記録します

- ◇自己研鑽や校内研修の内容を記録しなくても、不利益を被ることはありません。
- ◇国や道教委、市町村教委が実施する研修等への受講記録は、道教委・市町村教委が行います。
- ◇令和5年度は、道教委の共通様式（Excelファイル）により記録を作成します。



共通様式

#### 取組② 校長との対話

- ・研修履歴を活用し、校長との対話を行います
- ・対話を通じて、ご自身の個性や長所、期待される役割を見出します
- ・個性や長所、役割を基に、自らにふさわしい学びを見通します

- ◇期首・期末を基本に、日常の様々な機会に対話を行います。
- ◇対話は、学びを促進するために行うもので、人事評価の面談と目的が異なります。
- ◇校外研修や職専免など、サービスの取扱いについて、本制度による変更はありません。



対話のポイント  
年間スケジュール



Q & A

### 〔「新たな研修制度」のイメージ〕

